

各 位

平成 14年 9月 19日

会 社 名
コード番号
問合せ先

杏林製薬株式会社
4560
取締役経理部長
宮下征佑
TEL (03) 3293 - 3420

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 14年 5月 20日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1 . 15年 3月期中間業績予想数値の修正 (平成 14年 4月 1日 ~ 平成 14年 9月 30日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 14年 5月 20日 発表)	35,700	7,700	3,200
今回修正予想(B)	31,100	4,300	1,300
増減額(B - A)	4,600	3,400	1,900
増減率	12.9	44.2	59.4
前期(平成13年 9月中間期)実績	28,695	3,874	867

2 . 15年 3月期連結中間業績予想数値の修正 (平成 14年 4月 1日 ~ 平成 14年 9月 30日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 14年 5月 20日 発表)	36,300	7,800	3,300
今回修正予想(B)	31,700	4,500	1,400
増減額(B - A)	4,600	3,300	1,900
増減率	12.7	42.3	57.6
前期(平成13年 9月中間期)実績	29,293	3,946	871

3 . 15年 3月期通期業績予想数値の修正 (平成 14年 4月 1日 ~ 平成 15年 3月 31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 14年 5月 20日 発表)	75,000	17,800	6,900
今回修正予想(B)	70,600	14,000	5,200
増減額(B - A)	4,400	3,800	1,700
増減率	5.9	21.3	24.6
前期(平成14年 3月期)実績	61,131	11,816	3,785

4 . 15年 3月期連結通期業績予想数値の修正（平成 14年 4月 1日 ～ 平成 15年 3月 31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 14年 5月 20日 発表)	76,300	17,900	7,000
今回修正予想(B)	71,900	14,300	5,400
増減額(B - A)	4,400	3,600	1,600
増減率	5.8	20.1	22.9
前期(平成14年 3月期)実績	62,395	12,210	4,117

5 . 理 由

1) 当中間期は、海外売上高が米国プリストル・マイヤーズ スクイブ社(B M S 社) のテクイン(ガチフロキサシン) 過剰在庫問題により、当初予想を下回る見込みとなりました。
国内医療用医薬品売上高は新薬(経口抗菌剤：ガチフロ錠) 上市により大幅増収となる見込みではあるものの、当初予想には達しない見通しです。その結果、当中間期(単体) の売上高見込みは 3 1 1 億円となり、当初予想を下回る見込みであります。
また、収益面については、国内売上高伸長により増収を見込むものの、売上高が当初予想を下回る見込みのため売上高総利益が減少し、経常利益、当期純利益とも当初予想を下回る見通しとなりました。

2) 通期につきましては、国内医療用医薬品は新薬の売上拡大に向けプロモーションを強化し下期計画達成を図っていく所存です。海外売上高は B M S 社過剰在庫問題の影響が本年内で終息する見込みですが上期同様、当初予想を下回るため通期(単体) の見込みは売上高 7 0 6 億円、経常利益 1 4 0 億円、当期純利益 5 2 億円と当初予想を下回る見込です。

備 考

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。したがって、実際の業績は、様々な要因によりこれらの予想と異なることがありますことをご承知おき下さい。

補足資料

1. 単体売上高について

単位：百万円

	平成14年3月期 (中間実績)	平成15年3月期 (中間見込み)	平成15年3月期 (修正)	前年増減額	見込み増減額
売上高	28,695	35,700	31,100	2,405	-4,600
国内医療用	21,116	29,000	26,500	5,384	-2,500
海外医療用	5,984	5,000	2,800	-3,184	-2,200
その他	1,595	1,700	1,800	205	100

	平成14年3月期 (通期実績)	平成15年3月期 (通期見込み)	平成15年3月期 (修正)	前年増減額	見込み増減額
売上高	61,131	75,000	70,600	9,469	-4,400
国内医療用	45,626	60,400	59,500	13,874	-900
海外医療用	12,127	11,100	7,500	-4,627	-3,600
その他	3,378	3,500	3,600	222	100

2. 単体主要製品売上高について

主要製品の中間期および通期見込みは、下表の通りとなっております。

単位：億円

中間期	平成14年3月期 (中間実績)	平成15年3月期 (中間見込み)	平成15年3月期 (修正)	前年増減額	見込み増減額
ムコダイン	76	78	76	0	-2
バクシダール	17	12	13	-4	1
ケタス	37	46	36	-1	-10
アブレース	21	16	17	-4	1
ロカルトロール	19	14	16	-3	2
ペンタサ	22	24	26	4	2
キプレス	17	30	26	9	-4
ガチフロ (国内自販のみ)	0	46	20	20	-26
ガチフロ(海外)	48	39	17	-31	-22

通期	平成14年3月期 (通期実績)	平成15年3月期 (通期見込み)	平成15年3月期 (修正)	前年増減額	見込み増減額
ムコダイン	175	177	175	0	-2
バクシダール	36	24	24	-12	0
ケタス	75	100	85	10	-15
アブレース	43	30	34	-9	4
ロカルトロール	38	27	32	-6	5
ペンタサ	45	50	54	9	4
キプレス	31	75	71	40	-4
ガチフロ (国内自販のみ)	0	100	85	85	-15
ガチフロ(海外)	98	80	46	-52	-34

3. 下期における具体的施策

1) レスピラトリーキノロンであるガチフロ錠の呼吸器感染症への積極的処方拡大

* 呼吸器感染症の増加する下期にガチフロ錠の売上拡大が期待され、売上増を目指し、プロモーションを強化します。

2) キプレスの長期投与許可に伴う処方拡大

* キプレスは発売後1年が経過し、長期処方が可能となりより一層の処方拡大を図ります。